



水芭蕉満開に。

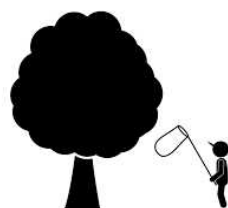
五泉市立川東中学校学校だより
令和4年8月23日発行 第5号
毎月1回発行（文責 校長）

その花言葉「美しい思い出」の如く充実した学校生活を願って、「水芭蕉満開に」としました。

夏休み終了。テストに全力投球

前後の土日を含め31日に渡る夏休みが終わりました。質問です。

「夏休みの思い出として、何が一番初めに思い浮かびますか。」
「20時間かけて、どんなことに取り組むことができましたか。」



楽しい思い出はあっという間ですが、思い返すとたくさんのことが思い出されます。決してあっという間ではないのです。テスト直前と言うことで、夏休み明けの全校朝会では学ぶことの楽しさについて話しました。概要を紹介します。

TBSの人気番組「東大王」を知っていますか。現役東大生の頭のよさ（回転の速さや柔軟性）には驚くばかりです。あの番組を見ていると、勉強は本来楽しい、わからないことがわかるようになるのはとても楽しいことだと再認識します。大人になると勉強する時間の確保が難しくなります。是非今のうち、学ぶ楽しさを実感してほしいと思います。

定期テストを受けてみた。

さて、今日から学校再開です。今日は第2回定期テストの13日前です。第1回定期テストの反省を生かすチャンスがやってきました。どんな反省が思い出されますか。その反省を生かすために何ができるかを具体的に考えてみましょう。

思い立って第1回定期テスト（1年生）を5教科受験しました。結果は以下のとおりです。

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
校長の点数	91点	93点	96点	94点	99点	473点

- 1日目は3教科。私立高校受験と同じと思うとテストにも体力は必要を実感した。
- トメハネは面倒だが、少し意識して書くと、形は整うように感じる。
- 採点は他人がするので、読んでもらうからには読んでもらえるように書く必要がある。
- 勉強は一旦始めると軌道に乗り、次にやるべきことが見えてくる。



専門である数学で満点を取れなかったのは悔しいです。最大値と最小値を求める問題で回答欄を書き間違えるという痛恨のケアレスミスです。このケアレスミスを含めて自分の実力と考え、繰り返さない対策を具体的に考えたいと思います。

身に付けたいのは「確かな学力」

川東中では、「豊かな心」「健やかな体」と共に「確かな学力」の育成に取り組んでいます。「確かな学力」の育成には、授業力の向上が不可欠です。授業研究と研究授業によりその力を養います。

用語解説 似た用語を出したので、解説します。次のように使い分けて考えています。
「授業研究」… 生徒の学力向上のためにどんな授業が有効かを考えて準備をすること。
「研究授業」… 授業を他の職員に公開し、工夫や手立てについて意見交換すること。

研究授業①高野有弘教諭の数学授業（３年生）＝６月23日（木）＝

「平方根」の単元で授業を行いました。生徒自らの問いや気づきを授業展開に生かすことにより、生徒の主体的な学びを促すことをねらいました。



乗除の計算（かけ算・割り算）を終え、加減の計算（足し算・引き算）をどのように行うかという内容です。乗除の計算と同様の考え方が成り立つかどうか生徒自ら疑問を持って多様な方法で調べていました。

市内３中と田上中、川東小の先生方も参加し、議論しました。

研究授業②皆川将太教諭の道徳授業（２年生）＝７月13日（水）＝

童話「泣いた赤鬼」の資料を元に、「優しさ」について考えました。対話を通して、思いやりや優しさについて考えを深めることをねらいました。



誰もがよく知る童話「泣いた赤鬼」の後日談を紹介し、人間と仲良くなりたい赤鬼のために、自ら憎まれ役になった青鬼の気持ちと人間の気持ちを対比しながら、生徒は「本当の優しさ」について真剣に話し合いました。

五泉市東蒲原郡内の中学校の先生方も参加し、議論しました。

川東中が目指す「主体的、対話的で、深い学び」

いわゆる「主体的、対話的で、深い学び」の実現に向けて、以下に重点を置いています。

①「主体的な学び」：学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って、次につなげる授業を行う。

②「対話的な学び」：生徒同士の協働、教職員や地域の人との対話などを手掛かりに、自己の考えを広げ深める授業を行う。

③「深い学び」：知識を関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見つけて解決を図ったりする授業を行う。

④ 前記の３つの「学び」を支えるための基礎・基本的な事項の定着を図る。

